

室生犀星詩集

福永武彦編



新潮文庫

むろ う
室 生

高校図書館用

新潮文庫 草103 G

昭和五十五年四月一日発行

編者

福^{ふく}永^{なが}武^{たけ}彦^{ひこ}

発行者

佐藤 亮一

発行所

株式会社 新潮社

郵便番号 一六二
東京都新宿区矢来町七一
電話 業務部(〇三)(二六六)五一
編集部(〇三)(二六六)五四二
振替 東京四一八〇八番

装幀 山口蓬春

◎ 印刷・二光印刷株式会社 製本・加藤製本株式会社

© Asako Murou 1980 Printed in Japan
Mototaka Kanda

乱丁・落丁のものは本社にてお取替えいたします。

新 潮 文 庫

室 生 犀 星 詩 集

福 永 武 彦 編



新 潮 社 版

1817

寄 贈

目次

抒情小曲集

(序曲).....	一六
一部 (故郷にて)	
小景異情.....	一六
旅途.....	二〇
流離.....	二〇
木の芽.....	二二
夏の朝.....	二三
寺の庭.....	二三
旅上.....	二三

三月.....	二四
足羽川.....	二四
みやこへ.....	二五
寂しき春.....	二六
かもめ.....	二七
海浜独唱.....	二八
砂山の雨.....	二八
二部 (故郷にて)	
時無草.....	三〇
永日.....	三一
月草.....	三三
十一月初旬.....	三三
十一月初旬.....	三三

くらげ……………	三三
霜……………	三四
松林のなかに坐す……………	三四
砂丘の上……………	三五
わかれ……………	三六
雪くる前……………	三六
秋の終り……………	三七
三 部（東京にて）	
蟬頃……………	三六
天の虫……………	三九
上野ステエション……………	四〇
郊外にて……………	四〇
室生犀星氏……………	四一

合掌……………	四三
卓上噴水△「抒情小曲集」補遺△	
夕日……………	四七
青き魚を釣る人	
（序詩）……………	五〇
春の寺……………	五〇
逢ひて来し夜は……………	五一
山なみ……………	五一
ふるさとより……………	五二
青き魚を釣る人……………	五二
五月……………	五三
僧院の窓辺……………	五四

鳥雀集

洲崎の海	五
雪くる前	七
栗壳	七
滞郷異信	八
壁上哀歌	六〇
挽歌	六〇
(序詩)	六四
身をよせる	六四
鳥雀のいとなみ	六五
冬は来つ	六五
さみしき樹木	六六
くちぶえ	六六

愛の詩集

急行列車	六七
馬車	六八
海	六九
海の尼寺	六九
白日	七〇
(序詩)	七二
はる	七二
万人の孤独	七三
朝の歌	七四
夕の歌	七五
故郷にて冬を送る	七六
しぐれ	七七

秋くらげ……………	七六
永遠にやつて来ない女性……………	七九
女人に対する言葉……………	八一
この道をも私は通る……………	八四

第二愛の詩集

まだ知らない友……………	八八
安息日……………	八九
初めて「カラマゾフ兄弟」を読 んだ晩のこと……………	九〇
草原……………	九三

寂しき都会

第二の故郷……………	九六
------------	----

救へない人人……………	九
春から夏に感ずること……………	一〇三

星より来れる者

巷塵……………	一〇八
鏑……………	一〇九
田舎……………	一一

田舎の花

遠い笛……………	一一六
山上の火……………	一二七
子守唄……………	一二七
品川……………	一二八

忘春詩集

ふいるむ	二三
象	二三
桃の木	二三
道草	二四
夜半	二五
靴下	二六
我が家の花	二七
あきらめのない心	二八
最勝院自性童子	二九
おもかげ	三〇
五月幟	三一
駱駝	三二

高麗の花

秋日	一三
石一つ	一四
むかしむかし	一五
じんなら魚	一六
黄ろい蠟石	一七
夕餉のしたくはまだできぬか	一八
支那風な景色	一九
洋燈	二〇
家族	二一
故郷図絵集	
昨夜	二四

松が枝に	一四五
家庭	一四五

鶴

切なき思ひぞ知る	一四六
何者ぞ	一四六
埃の中	一四九
人家の岸边	一五〇
友情的なる	一五一
行ふべきもの	一五二
いつも釣をしてゐる子供	一五三

鉛筆詩集

夏花	一五六
----	-----

劍	一五六
軍艦	一五七

鉄集

劍をもつてゐる人	一六〇
ノツソリと立つ者	一六〇
税関	一六一

△「鉄集」補遺▽

竜安寺石庭	一六二
鏡	一六三

哈爾浜詩集

大連	一六六
奉天の館	一六七

人を思へど……………	一六七
荒野の学校……………	一六八
荒野の王者……………	一六九
鼈……………	一七〇
濁り江……………	一七一
すらぶの琴……………	一七二
中央大街附近……………	一七三
君子の悲しみ……………	一七四
道外……………	一七五
古き露西亞……………	一七六
汽車……………	一七七
白い日……………	一七八

魚……………	一七九
山も河も……………	一八〇
み寺……………	一八一
過失……………	一八二
赤ん坊……………	一八三
四十路……………	一八四
人と人……………	一八五
この人を見よ……………	一八六
帰去来……………	一八七
人……………	一八八
美以久佐……………	一八九
磯浜……………	一九〇
みみずあはれ……………	一九一

麗日……………一八

動物詩集

紋白蝶のうた……………一九二

こほろぎのうた……………一九二

はたはたのうた……………一九四

雪降虫のうた……………一九五

日本美論（夕映梅花）

紙……………一九八

雀……………一九九

たをやめ……………二〇〇

たびびと……………二〇〇

日本のゆふぐれ……………二〇一

旅びと

孟蘭盆の歌……………二〇四

月夜……………二〇四

鰯……………二〇五

信濃……………二〇八

逢ひぬれば

信濃……………二二二

まめで……………二二二

ゆきみち……………二二三

木枯……………二二三

あきもせぬに……………二二四

女ごのための最後の詩集

けふといふ日	二二六
とらへられざるままに	二二七
けふほれてあすわかれ	二二八
野をうしろにいろどつて	二二九
わかい菌といふもの	二三〇
野草	二三二
誰かをさがすために	二三三
令嬢ミンミン	二三三
知らざる人	二三三
信濃の宿	二三四

昨日いらつしつて下さい

夜までは	二三六
昨日いらつしつて下さい	二三九
思ひ	二三〇
ひげ	二三〇
陶古	二三一
象とパラソル	二三三
あさきよめ	二三三

晩年

先きの日	二三六
幕の外	二三七
何万枚以前	二三六

運命……………三九

晩年……………二四〇

〈遺作〉

老いたるえびのうた……………二四二

解説……………

福永武彦

室生犀星詩集

抒情小曲集